

令和 8 年度第 1 回三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会 開催結果

- 1 開催日時 令和 8 年 8 月 31 日（月）13:00～14:00
- 2 委員名簿 別紙のとおり
- 3 出席委員 伊東学会長他 12 名
- 4 議事

（１）三重県の歯科保健の現状「みえ歯と口腔の健康づくり年次報告書（案）」について

<事務局説明概要>

- ・「みえ歯と口腔の健康づくり条例」および「第 3 次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、人材育成研修、啓発、歯科保健指導等、令和 7 年度の歯科保健推進事業を実施しました。

<委員からの主な意見>

- ・全国的にみて歯科技工士の養成と確保ができてない現状にある。三重県においても、新卒者の就職がここ数年 0 という現状になっている。

<事務局からの回答>

- ・あらためて現在の状況を伺いたい。

（２）令和 8 年度歯科保健推進事業について

<事務局説明概要>

- ・ライフステージおよびライフコースアプローチに基づいた歯と口腔の健康づくりに関する事業を実施します。併せて、障がい児・者や中山間地域の住民への歯と口腔の健康づくりに関する事業を実施します。
- ・この他、医科歯科連携や在宅歯科保健医療、災害時歯科保健医療、歯科医療機関における感染症対策等に関する事業を実施します。

<委員からの主な意見>

- ・フッ化物洗口実施施設の状況について、地域によって 0 %の地域や 100%の地域がある。年々増加しているが、みえ歯と口腔の健康づくり条例第 2 条第 2 号の規定に「全ての県民が適切かつ効果的な歯科疾患の予防等を受けることができる環境が整備され」とあるように、どこの地域も同じように受けることができる状況を作り出すことが必要である。実施されている地域もそれ以外の地域も、どんどん進めていかなければならないと感じた。
- ・健康日本 21 第三次で自然に健康になれる環境づくりが重視されるようになった。誰一人取り残さないユニバーサルな歯科口腔保健を実現するための施策をどんどん推進していただきたい。